

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月12日

上場会社名 帝国通信工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6763 URL <http://www.noble-j.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 一柳 和夫
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理室管掌 (氏名) 小田切 純夫 (TEL) 044-422-3831
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	10,044	0.7	122		768	349.7	865	14.4
25年3月期第3四半期	9,973	6.0	94		170		1,010	

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,619百万円(43.5%) 25年3月期第3四半期 1,128百万円()

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	17.72	17.69
25年3月期第3四半期	20.71	20.67

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	21,784	18,399	82.5
25年3月期	20,151	17,127	83.0

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 17,970百万円 25年3月期 16,733百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期		2.50		2.50	5.00
26年3月期		2.50			
26年3月期(予想)				2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	6.3	300		400	1.6	500	48.9	10.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 2社(社名) 富貴電子(淮安)有限公司、
ノーブルトレーディング(バンコク)、除外 社(社名)
株式会社

(注) 詳細は、添付資料 P. 3 「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	50,709,167株	25年3月期	50,709,167株
期末自己株式数	1,829,699株	25年3月期	1,892,177株
期中平均株式数(四半期累計)	48,842,275株	25年3月期3Q	48,789,438株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は現在入手可能な情報及び合理的に判断した予想であり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、予想に関する事項は、添付資料 P. 3 「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
5. 補足情報	11
製品別販売実績	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、米国で緩やかな回復基調となり、欧州の財政問題は最悪の状況を脱したと思われませんが、中国をはじめとする新興国は依然として減速状態が続きました。我が国の経済は、世界経済同様に停滞が続いておりましたが、米国経済の回復や円安、政府による経済政策の効果などで緩やかに回復してきました。当社グループの属するエレクトロニクス業界は、スマートフォンとタブレットPC、および北米市場が回復した自動車向けが好調でしたが、薄型テレビ等のAV家電は低迷が続きました。

このような状況の中で当社グループは、市場の変化に対応するためAV家電以外の新規市場の開拓と拡販に注力してまいりました。また海外製造拠点の効率的で安定した生産体制を確保するためにグループをあげて対応してまいりました。売上高の回復が遅い中で利益を確保するため、自動化等によるコストダウンや全部門での経費削減を進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は100億44百万円（前年同期比0.7%増）となりました。営業利益は1億22百万円（前年同期は94百万円の営業損失）、円安により為替差益を計上したため経常利益は7億68百万円（前年同期比349.7%増）、四半期純利益は8億65百万円（前年同期比14.4%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

電子部品

市場別にはデジタルカメラ、ヘルスケア、エアコンや給湯器などの家電向けが引き続き好調でした。また自動車電装向けも堅調に推移しました。製品別では、前面操作ブロック（ICB）製品がデジタルカメラとヘルスケア向けに好調でしたが、ビデオカメラや暖房機向けが低調でした。可変抵抗器は一部オーディオ向けが回復しましたが、不採算機種を整理したため売上高は低下しました。固定抵抗器はエアコンや給湯器向けが引き続き好調でした。

この結果、電子部品の売上高は98億27百万円（前年同期比2.0%増）となり営業利益は2億80百万円（前年同期は53百万円の営業損失）となりました。

当事業の地域別の業績は次のとおりであります。

a. 日本

デジタルカメラやヘルスケア向けが引き続き好調でしたが、前年の反動や顧客の生産調整などから暖房機向けが減少しました。

この結果、売上高は44億73百万円（前年同期比14.9%減）となりましたが、アジアへの内部売上高が増加したことにより営業利益は2億46百万円（前年同期比374.5%増）となりました。

b. アジア

中国でのエアコンや給湯器向け固定抵抗器、タイでの自動車電装やデジタルカメラ向けが好調でしたが、ゲーム機向けは伸び悩み、ビデオカメラ向けは低迷しました。

この結果、売上高は50億28百万円（前年同期比24.1%増）となり営業損失は11百万円（前年同期は1億円の営業損失）となりました。

c. 北米

テレビ向けはやや持ち直しましたが、自動車電装およびオーディオの主要市場向けが低調でした。

この結果、売上高は3億24百万円（前年同期比1.8%減）となり営業利益は26百万円（前年同期比1,230.8%増）となりました。

その他

機械設備の製造販売は、国内での設備投資が回復しないため、また中国市場も低迷が続けたままのため、大きく減少しました。

この結果、機械設備の売上高は2億17百万円(前年同期比34.9%減)となり営業損失は1億63百万円(前年同期は51百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産が前連結会計年度末に比べ16億33百万円増加し217億84百万円となりました。その内訳は、流動資産が15億2百万円増加し136億38百万円、固定資産が1億30百万円増加し81億46百万円となりました。

負債は前連結会計年度末に比べ3億61百万円増加し33億85百万円となりました。その内訳は、流動負債が2億23百万円増加し25億59百万円、固定負債が1億37百万円増加し8億25百万円となりました。

これらの結果、純資産は前連結会計年度末に比べ12億71百万円増加し183億99百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の83.0%から82.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

引き続き先行きが不透明な経済状況が予想されますが、平成26年3月期の業績予想に関しては、平成25年5月14日に公表いたしました見通しに変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、富貴電子(淮安)有限公司及びノーブルトレーディング(バンコク)株は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

前連結会計年度において、経常損益および当期純損益とも利益に転じ、当第3四半期連結累計期間においては営業利益も計上するまでに至っております。

当該状況を維持しさらに改善するために、緊急の課題である収益改善と競争力向上のため、生産体制の見直しを進めました。タイ、中国、ベトナム、インドネシアの4ブロックで省人・省力化をさらに推進する等効率的な生産を行い、資材調達などでも現地化のメリットをさらに追及してまいります。販売面では、中国やASEAN地区での顧客の動向に対応するための販売力、提案力、サービスの強化を図ってまいります。またこれらの市場向け新製品の開発、投入を急ぎ、売上高の回復に努めてまいります。さらには新市場向け新製品の開発に向けて研究開発とマーケティングを進めてまいります。

なお、当社グループ外部からの借入もなく自己資本比率も82.5%であり、四半期連結貸借対照表上の現金及び預金も73億23百万円と前連結会計年度末に比べ20億10百万円増加しており、事業運営を進めるための十分な運転資金を有しております。このように当該状況をさらに改善するための対応策を継続して実施中であり、継続企業の前提に関する不確実性はないと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,312,542	7,323,100
受取手形及び売掛金	3,994,108	3,487,520
商品及び製品	1,030,392	1,103,775
仕掛品	567,194	477,457
原材料及び貯蔵品	844,296	707,427
その他	393,552	541,741
貸倒引当金	6,955	2,969
流動資産合計	12,135,131	13,638,053
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,255,116	2,203,235
機械装置及び運搬具(純額)	1,548,360	1,607,129
その他(純額)	876,538	884,251
有形固定資産合計	4,680,016	4,694,616
無形固定資産		
	124,188	147,002
投資その他の資産		
投資有価証券	1,372,745	1,690,296
関係会社出資金	471,457	-
その他	2,232,653	1,624,192
貸倒引当金	864,883	9,461
投資その他の資産合計	3,211,973	3,305,027
固定資産合計	8,016,178	8,146,646
資産合計	20,151,310	21,784,700
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,079,173	1,216,799
短期借入金	176,718	194,381
未払法人税等	73,451	49,163
賞与引当金	286,873	200,872
固定資産撤去費用引当金	40,000	40,000
その他	679,140	858,123
流動負債合計	2,335,357	2,559,340
固定負債		
退職給付引当金	193,641	213,804
その他	494,440	612,185
固定負債合計	688,082	825,989
負債合計	3,023,440	3,385,329

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,453,078	3,453,078
資本剰余金	5,456,313	5,456,313
利益剰余金	9,768,291	10,288,904
自己株式	948,819	914,372
株主資本合計	17,728,864	18,283,923
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	187,051	398,420
為替換算調整勘定	1,182,755	711,738
その他の包括利益累計額合計	995,704	313,317
新株予約権	6,672	5,338
少数株主持分	388,038	423,426
純資産合計	17,127,870	18,399,370
負債純資産合計	20,151,310	21,784,700

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	9,973,136	10,044,823
売上原価	7,379,893	7,181,378
売上総利益	2,593,243	2,863,444
販売費及び一般管理費	2,687,805	2,740,866
営業利益又は営業損失()	94,562	122,578
営業外収益		
受取利息	16,139	21,127
受取配当金	52,619	56,945
受取賃貸料	82,376	71,754
為替差益	104,924	416,800
貸倒引当金戻入額	-	40,136
その他	107,097	105,846
営業外収益合計	363,158	712,610
営業外費用		
支払利息	689	892
固定資産賃貸費用	34,998	34,003
貸倒引当金繰入額	43,900	-
外国源泉税	8,591	26,534
その他	9,547	5,350
営業外費用合計	97,727	66,780
経常利益	170,867	768,409
特別利益		
固定資産売却益	-	315,946
受取保険金	900,527	-
災害損失戻入益	36,769	-
特別利益合計	937,296	315,946
特別損失		
減損損失	-	22,971
事業再編損	-	70,440
特別損失合計	-	93,411
税金等調整前四半期純利益	1,108,164	990,943
法人税等	75,362	99,123
少数株主損益調整前四半期純利益	1,032,801	891,820
少数株主利益	22,302	26,349
四半期純利益	1,010,499	865,470

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,032,801	891,820
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	53,849	212,860
為替換算調整勘定	149,338	514,728
その他の包括利益合計	95,489	727,589
四半期包括利益	1,128,291	1,619,409
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,083,040	1,547,856
少数株主に係る四半期包括利益	45,250	71,552

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注)3
	電子部品 (千円) (注)1	その他 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	9,639,559	333,577	9,973,136		9,973,136
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,387	449,213	457,600	(457,600)	
計	9,647,946	782,790	10,430,737	(457,600)	9,973,136
セグメント損失()	53,578	51,158	104,737	10,174	94,562

(注)1. 電子部品の地域別の内訳は下記のとおりであります。

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	調整額 (千円)	電子部品合計 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	5,255,199	4,053,715	330,644	9,639,559		9,639,559
地域間の内部売上 高又は振替高	3,976,584	3,783,215		7,759,800	(7,751,413)	8,387
計	9,231,783	7,836,931	330,644	17,399,359	(7,751,413)	9,647,946
地域別利益又は損失 ()	51,933	100,453	1,998	46,522	7,056	53,578

2. セグメント損失()の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失()と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注)3
	電子部品 (千円) (注)1	その他 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	9,827,634	217,188	10,044,823		10,044,823
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,567	321,575	327,143	(327,143)	
計	9,833,202	538,764	10,371,967	(327,143)	10,044,823
セグメント利益又は損失 ()	280,347	163,784	116,562	6,015	122,578

(注)1. 電子部品の地域別の内訳は下記のとおりであります。

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	調整額 (千円)	電子部品合計 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	4,473,970	5,028,814	324,850	9,827,634		9,827,634
地域間の内部売上 高又は振替高	4,455,102	4,362,205		8,817,308	(8,811,740)	5,567
計	8,929,072	9,391,019	324,850	18,644,943	(8,811,740)	9,833,202
地域別利益又は損失 ()	246,423	11,657	26,594	261,360	18,986	280,347

2. セグメント利益又は損失()の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他」セグメントにおいて、事業環境の悪化に伴う収益性の低下により、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において22,971千円であります。

5. 補足情報

製品別販売実績

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)		前年同四半期比 (%)
	金額	構成比	金額	構成比	
電子部品		%		%	
前面操作ブロック(千円)	4,013,976	40.2	4,363,947	43.4	108.7
可変抵抗器(千円)	2,219,032	22.3	2,143,834	21.3	96.6
固定抵抗器(千円)	907,935	9.1	1,331,661	13.3	146.7
その他(千円)	2,498,614	25.1	1,988,191	19.8	79.6
小計(千円)	9,639,559	96.7	9,827,634	97.8	102.0
その他					
その他(千円)	333,577	3.3	217,188	2.2	65.1
小計(千円)	333,577	3.3	217,188	2.2	65.1
合計(千円)	9,973,136	100.0	10,044,823	100.0	100.7